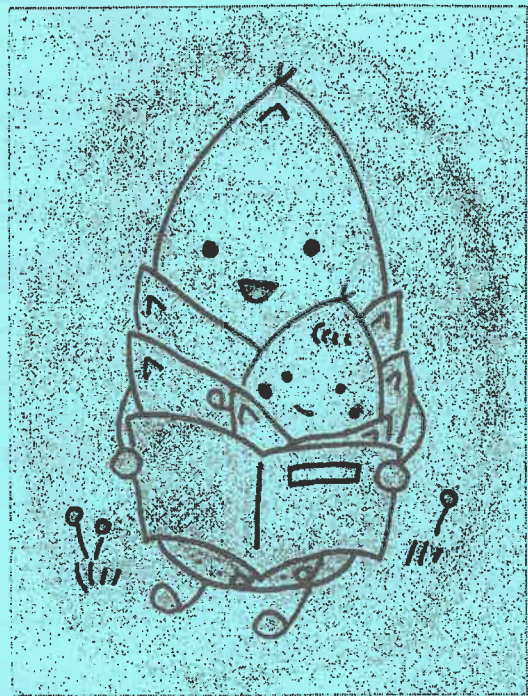


赤ちゃんを楽しむ 絵本のリスト



羽曳野市立図書館

おやすみ前や授乳後などの、落ちついた気持ちになれるひととき、絵本を読んであげる習慣を作ってみませんか。

幼い頃に読んでもらった絵本の思い出は、きっと子どもたちの一生の宝物になってくれることでしょう。

* 赤ちゃん絵本を選ぶときのポイント *

- ・簡潔でリズムカルな言葉を使い、心地よい響きがあること
- ・身近なテーマを用い、生活体験に根ざし、その体験をひろげてくれるもの
- ・色・形が鮮明で、暖かみがあること
- ・大人との対話や楽しい遊びへと誘うもの
- ・小型で、こわれにくいこと

絵本が育てる子どものころ

赤ちゃんのからだは、ミルクを飲むこと・おしっこやうんちをすること・ねむることを基本に成長していきます。

それと同時に、赤ちゃんのころや知能は、抱っこされたり、優しい手でふれられたり、言葉をかけてもらったりといった発達段階に応じた適切な刺激を受けることで成長していくのです。

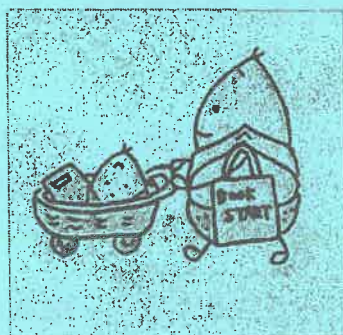
赤ちゃんに絵本を読み聞かせることは、ごく自然にこれらの刺激を同時に与えることになり、豊かな感受性と、言葉を理解する力をはぐくんでいきます。

また、いっしょに一冊の本を楽しむことは、親子のきずなを強め、コミュニケーションを深めることにもつながります。

このリストには、「赤ちゃんに本を贈ろう事業」で配布してきた本を中心に、定評のある赤ちゃん絵本を集めました。これらの絵本を通じて、親子でいっしょに楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。

☆リストの絵本はすべて市内の図書館に所蔵しています。読みたい本が見つからないときやお子さんにどんな本を読んであげたらいいか迷ったときは、ご遠慮なくお近くの図書館の職員におたずねください。

おはなし会



・絵本やかみしばい、手遊びやおはなしなど、小さなお子さんの読書への導入として、おはなし会を定期的にひらいています。赤ちゃんが絵本を読んでもらうことになれてきたら、ぜひ一緒にお越しください。

・各図書館のおはなし会の日程は、『広報はびきの』『図書館だより・たけのこくん』に載っています。

*各図書館には、ベビーカーのままでお入りいただけます。中央・陵南の森・古市図書館には、館内用ベビーカーも用意しています。

*中央・陵南の森（公民館女子トイレ）・羽曳が丘図書館には、おむつ替え台またはベビーベッドがありますので、どうぞご利用ください。

いないいないばあ

(松谷みよ子あかちゃんの本)

松谷 みよ子/文 瀬川 康男/絵 童心社
「いないいないばあ」は、今も昔も赤ちゃんが大好きなあそびです。ページをめくるたびに、ゆかいな顔の動物たちが「いないいない、ばあ。」

『いはいかお』『もうねんね』もおすすすめです。



こんないないないばあもあるよ!



中川ひろたか
村上康成/絵
ひかりのくに



キヨノサチコ
/作
偕成社



『いはい いない ばあ』『/ンタンいはいばあーい』『いはいいはいばああそび』

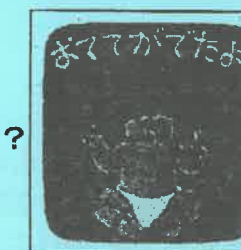
木村 裕一/作 偕成社

おててがでたよ

林 明子/作 福音館書店

ひとりでおようふくを着ようとがんばっている赤ちゃん。あれあれ、おててはどこかな? あんよはどこかな?

いっしょにさがしてあげてくださいね。



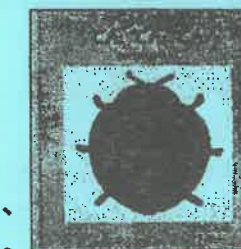
てんてんてん

わかやま しずこ/作 福音館書店

てんてんてん、てんとうむし。

ぐるぐるぐる、かたつむり。

くっきりした絵と簡潔なことばで構成され、赤ちゃんが最初に出会うのにぴったりな絵本。



じゃあじゃあびいびい

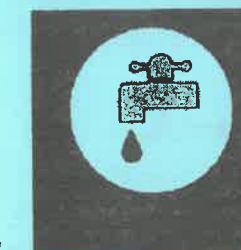
(まついのりにあかちゃんの本)

まつい のりこ/作 偕成社

車はブーブー、犬はわんわん、

お水はじゃあじゃあ。

赤ちゃんが大好きな「擬音語」をたくさん集めた、小さなかわいい絵本です。ほかにも『ばいばい』『みんなであそび』があります。



ごあいさつあそび

木村 裕一/作 偕成社

こどりのパイちゃんが「こんにちは」

こねこのミケがやってきて「こんにちは」

子どもと一緒に楽しめる、しかけ絵本。

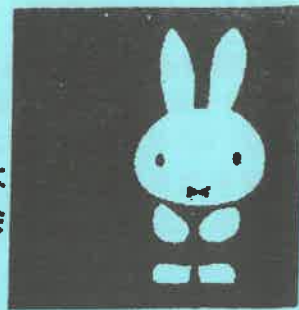
同じシリーズに『いはいかへんじできるかな』『いただきますあそび』などがあります。



ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナ／作
石井 桃子／訳 福音館書店

ふわふわさんと、ふわおくさんの間に、かわいい赤ちゃんが生まれました。名前はうさこちゃん。どの子どもにも一度は出会ってほしい、ブルーナの代表作です。



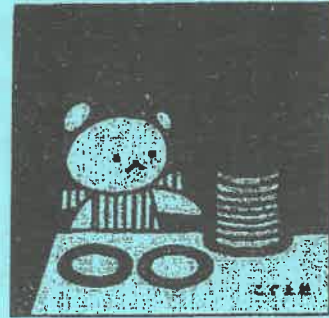
しろくまちゃんのほっとけーき

(こぐまちゃんえほん)

わかやま けん／作 こぐま社

しろくまちゃんが、お母さんといっしょにホットケーキを作ります。

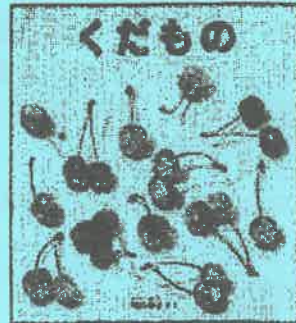
ホットケーキの作りようはなあに？
いつひっくりかえしたらいいの？
作る楽しみ、食べる楽しみがぎゅっとなつまった1冊です。



くだもの

平山 和子／作 福音館書店

いろいろなくだものが、まるで本物のように描かれています。おいしそう。「さあどうぞ」のことに、思わず親子で食べるまねをして遊んでしまいます。



くつつあるけ

林 明子／作 福音館書店

「くつつあるいた さんぽにおでかけ」一足のあかちゃんのくつが、さんぽにでかけます。ぱたぱたはやく、つま先はしり、ぴよんぴよんジャンプ。このくつと一緒に歩くことの楽しさを感じてください。



ぴょーん

まつおか たつひで／作 ポプラ社

ページをめくると、いろいろな生き物がぴょーん。動きがありおもしろくて、いつのまにか親子でいっしょにぴょーん。

まつおかさんは科学絵本の第一人者で、とんでいる動物のフォルムも正確です。



ねないこだれだ

せな けいこ／作 福音館書店

もう夜おそいののに、こんな時間に起きてるのはだあれ？ ふくろうにみみずく、いたずらねずみ、それとも…。

作者が実際に子育てをする日々の中で、我が子に読んであげるために作った絵本。



おつきさまこんばんは

林 明子／作 福音館書店

「おつきさまこんばんは」あれあれ雲が。「くもさんどいて、おつきさまのおかがみえない」雲が動いたあとには…。ねるまえにおすすめの1冊です。



おくちはどーこ (あかちゃんとおかあさんの絵本)

なかえ よしを／作

上野 紀子／絵 金の星社

「さっちゃんおくちはどーこ」「おはなは」パンダやこぶたもでてきて、表情豊かでことばあそびを楽しめる絵本です。



『おつめてんてん』
『おきゃくさんだーれ』
もあります。



でてこいでてこい

林 明子／作 福音館書店

ここにあるのは、種もしかけもない1枚の色紙。でも、「でてこい、でてこい」と呪文をとなえるとさあ、何が飛び出してくるかな？



いちにのさんぽ

ひろかわ さえこ／作 アリス館

いちに、いちに、いちにのさんぽ。さんぽあるいて、ごんにちは。いっしょにおさんぽしましょうか。

リズムカルな文章が楽しい絵本です。お好きなふしをつけて読んでもいいです。



コップちゃん

中川 ひろたか／作 ブロンズ新社

100%ORANGE／絵

「コップちゃん こんにちは」黄色く丸いお鼻のコップちゃんはなかなかのおしゃまさん。

同じシリーズに『スプーンさん』『くつしたくん』もあります。



るるるるる

五味 太郎／作 偕成社

るるとエンジン音をたてながら飛行機が、大空をゆうゆうと飛んでいきます。いっしょに空とぶ気分があじわえます。おなじ「る」でもいろいろな表情があります。



『ぼぼぼぼ』(きしゃ)もおすすめです。

きゅつきゅつきゅつ

林 明子／作 福音館書店

あかちゃんが、ねずみさん、うさぎさん、くまさんと「おいしいスープ。いただきますーす」。

みんなのこぼしたスープふいてあげるね。きゅつきゅつきゅつ。



たまごのあかちゃん

神沢 利子／作

柳生 弦一郎／絵 福音館書店

おおきなたまご、ちいさなたまご。「たまごのなかでかくれんぼしているあかちゃんはだあれ」とよびかけるとつぎつぎに動物の赤ちゃんが…。



ぼうしをとってちょうだい

(松谷みよ子あかちゃんのわらべうた)

松谷みよ子／作 上野紀子／絵 偕成社

おおきなぼうしをかぶった女の子。「ぼうしをとってちょうだい」とたのまれてもなかなかとってくれません。ところがおじぎをしたら…。



同じシリーズの下記の本もおすすめです。



『はいはいはい
とんでいけ!』



『さよならさんかく
またきてしかく!』



『かえるがやぐからかえろ!』

佐野 洋子／絵

上野 紀子／絵

遠藤 てるよ／絵

どうぶつのおやこ



『どうぶつのおやこ』『どうやってねるのかな』『もうおきるかな?』

藪内 正幸／作・絵
3冊とも福音館書店

松野 正子／作
藪内 正幸／絵

がたんごとん がたんごとん

安西 水丸／作 福音館書店

がたん ごとん がたんとまっ黒な汽車がやってきます。「のせてください」とほにゆうびんやねこがつぎつぎにやってきます。くりかえしがおもしろくて、

